

本日ここに、

稚内市副市長 佐伯達也 様

定時制教育振興会会長 泉正一 様をはじめ、多数のご来賓並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、令和8年度北海道稚内高等学校定時制課程入学式を挙げていただきますことを、厚くお礼申し上げます。

ただいま、入学を許可しました14名の新入生のみなさん、入学おめでとうございます。ようこそ稚内高校へ。私たち教職員一同、みなさんを心から歓迎いたします。また、保護者の皆様には、お子様の晴れ姿に、喜びもひとしおと拝察いたします。あらためてお祝いを申し上げますとともに、本校へ、お子様をあずけいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、新入生のみなさん、今から、新しい生活が始まります。真剣に自分自身と向き合い、ほかの何者でもない自分をつくりあげていくこととなります。「自分探し」ではありません。自分は作り上げられていきます。そのスタートにあたり、私からひとつ伝えておくことがあります。それは学校教育目標です。「ともに学び、ともに支え合い、ともに踏み出す」。もう一度言います。「ともに学び、ともに支え合い、ともに踏み出す」、これが定時制課程の学校教育目標です。この目標というのは、卒業までの4年間かけて、私たちはこのような人になって卒業します、というものです。学校における全ての教育活動が、この学校教育目標に紐付き、本校校歌にある「北斗の星の差すところ」がこれになります。

「ともに学び」とは、基礎基本の定着、学び直しなど、安心して学習できる環境の保障を示しています。「ともに支え合い」とは、他者を理解すること、自分とはどういう人か、またどういう人で在りたいかという理解、ここを「居場所」として確認すること、命・信頼・思いやりの大切さ、を意味しています。「ともに踏み出す」とは、在学中から様々な活動を通して地域、社会とつながり、進学・就職へ挑戦する志を高め、自立への一歩を踏み出していくことを、全員で目指していきます。これからの社会は、個々の力のみで、頑張り切れるようなスーパーマンは求められておらず、他者と関わりながら、支え合って生きる力を持つ人材が必要とされています。だからこそ、「ともに」という言葉を3度繰り返すことで、目指す方向性を示しました。本校定時制生徒が稚内高校を離れた後も、地域や社会の中で、必要とされる存在になることを期待し、生徒会生徒、職員、学校評議員など地域の方々にご意見いただきながら、協議し策定しました。

定時制高校には、学習への不安を持つ人、人間関係を結ぶことに苦手を持っている人など、様々な背景を持つ生徒が集まっています。定時制の先生方は、みなさんが「わかる喜び、できる喜びを味わうことができる授業づくり、安心して生活できる環境づくり」に本気で取り組んでいます。わからないことがわかったり、できなかったことができたりすること、苦手と思っていたことに、挑戦してみようかなと思えることで気持ちが前向きになり、もっと自分の可能性を広げたいと思えるはずです。みなさんの頑張りや、しっかりサポートしていきます。

そして、多くの方が気にしているとは思いますが、高校では、中学校の時のように、時期がきたら進級・卒業することが当たり前ではありません。入学しても途中で辞めていく生徒を少なからず見ました。辞めていった人は辛かったと思いますが、私たちが辛いです。もしかしたら、皆さんの

中にも、これからの高校生活の中で、辞めなくなる人もいるかも知れません。どうか辞めないでください。なんとか辞めずに学びを継続できるよう、私たちは皆さんとともに、「ともに学び、ともに支え合い、ともに踏み出す」の目標実現に向けて、本気で寄り添っていきます。

結びになります。保護者の皆様、冒頭に「お子様をおあずけいただき感謝申し上げます」とご挨拶しました。4年後、学校教育目標「ともに学び、ともに支え合い、ともに踏み出す」に叶う、地域・地元へ貢献できる若者としてお返しできるよう、教職員一同、全力を挙げて、信頼される学校づくりに邁進していく所存です。是非とも本校の教育活動に対し、ご理解、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、これまで関わってこられた中学校様、教育相談所並びに関係機関の皆様、これから新たに支援して下さる、定時制教育振興会様、本校新入生の学びと成長を支えるチームの一員となっただけますことを、大変心強く思います。今後ともどうぞ、よろしくお願いいたします。

新入生のみなさん、今日から、ここが、あなたの居場所です。

以上で式辞といたします。

令和8年4月8日

北海道稚内高等学校長 小林洋介